

# ふたかみ NEWS プチトマト



ほまれっこの子ども達はいつでも元気いっぱいです！



お誕生日会、駄菓子屋さん、オリジナルパフェなど特別なおやつをみんな楽しみにしています。  
季節の行事を大切にしながら、クッキングや工作、アロマ、陶器…いろいろな事にチャレンジしています。  
体を動かす外遊びが大好きな子ども達といろいろな所にお出かけします。それぞれにお気に入りの公園があり、リクエストされる事も♪(細田)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0856 大阪府羽曳野市白鳥3-16-1 木村ビル4階 TEL 072-959-3221 FAX 072-957-1604

Email: [futakami@kagayaku-inochi.com](mailto:futakami@kagayaku-inochi.com) <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



## お皿、焼きあがりました！！



大皿 ¥1,600



箸置き ¥300



平皿 ¥1,200



ほかにも種類がいっぱい♪

ハジバールのお皿は、全てなかがまがデザインしています。デザインも様々あります。どんな料理にも合うので、普段の食卓を彩ってくれます。是非、ハジバールまでお問い合わせください。※陶器の注文の方も承ります！

### ■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

【2021年度4月】

- ・寺村美知子 荻野好美 森信幸 那須勝行 山本和美 上峠通男 井上忠志 平岡俊雄 丹羽久子 安井敏雄 塩野貴司 鎌田修 樽井義憲 片田登志子 志田勉 新田金次 高島香織 奈倉克枝 鈴木繁男 福井良蔵 安藤操 古谷章 松本茂樹 松永匠 上戸将博 清水一 重信豊和 畑英作 川原茂登志 佐野省三 梁誠一 宮本順市 赤井俊文 三宅渡 古川量子 井ノ内康史 高橋伸之 駒澤任紀 栞山保 佐藤泉 森慶一 谷秀樹 . . . . . 以上5口
- ・細川直幸 竹田直樹 . . . . . 以上4口
- ・中筋義昭 石田陽喜 高坂ひとみ 山下良子 宮脇紀子 黒萩友一 戸田勝浩 宮崎孝代 . . . . . 以上1口

■寄附金 . . . . . 野中マサ子様

■ボランティア . . . . . であい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様

■アルミ缶回収(4月分) . . . . . 1340 kg

ありがとうございました

### ◆2021年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894



「友達が欲しい。みんなと一緒に働きたい。」という障害のある仲間と親の願いのもと、1989年(平成元年)4月に無認可の「共同作業所羽曳野園」が開所しました。1996年9月に社会福祉法人ふたかみ福祉会はびきの園(知的障害者通所授産施設)を設立してから25年となります。

私たちは、障害のある人の地域で暮らしたいという願いの現に向けて事業を進めていきます。障害のある人と一緒に働き、暮らしをつくる中で、障害があっても人生の主人公となり、人間としてたくましくゆたかな暮らしを一緒に築く支援を進めていきます。

【家族のこえ】  
声も体も大きい我が子は家庭内はもとより、近隣のトラブルも多く「どうしたもんか…」と悩んだり落ち込んだりします。苦情のメールが来たり、怒鳴られることはしょっちゅう、直接聞き合わせに来られたりすると

### 仲間と昼食作り



はびきの園の今年度最初の休日開所!ですが、今は外出するのが難しく、みんなで集まる楽しみも無く、もどかしいですね。それもこれもせうんぶウイルスのせい!ということですが、今回の開所の取り組みは「ウイルスを倒してスカッとしよう!」をテーマにはびきの園での当てゲームを行いました。

みんなでばい菌やウイルスの的を作って、感染予防についてのクイズ形式でスカッと撃退しました!ゲームを終えたあとのみんなの表情はスカッと明るく「楽しかった!」という声がたくさん聞けました。(寺村)



## 「の街で暮らしたい」障害者生活「グループホーム」建設に向けて

「誰も居てないところへ行きたい」と思ったりします。中略。そんな我が子も遅まきながら反抗期を迎え、当たり前ですが成人として親元を離れた暮らしを望むようになってきました。本人が慣れ親しんだ人・環境・地域の中で誰もが当たり前の生活が実現するように、グループホームができるように願います。(チャリティーコンサート2019年のパンフレットより)

【新たな暮らしの場作りにむけて】  
介助者である親の加齢の中、介護負担はますます重くなってきています。また、重い障害のある人の暮らしの場は、既存の住宅を利用するには限界があり、一人ひとりの状況に応じた設備や環境への配慮も必要です。私たちは、障害が重くても家族から自立したくらしの場の必要性を強く認識し、新たなグループホームの整備を進めていくことにしました。

【老いる権利と看取る権利の確立を】  
自助共助、自己責任、家族の責任という名の下、主たる介護者として

### 打倒!ウイルス!

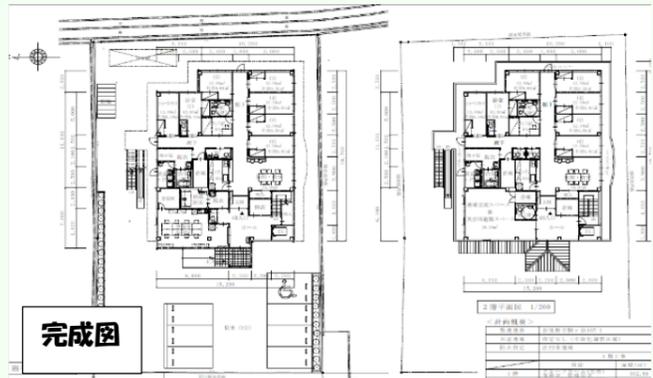
母親は、障害のある子どもへの介護(ケア)を過剰に課せられていました。その過剰に課せられたケアの責任をどう社会の責任として移行していくのか。

障害者生活者大 西記 念セ ンタ ーに 続く、 新たな グループホーム作りは、障害者の権利条約の実現に向けた障害があってもこのまちで暮らしたいという願いを広げていく拠点としても位置付けたいと思います。建設募金へもぜひご協力ください。よろしくお願ひします。(石本)

### 感謝の気持ちを伝えよう



5月5日ははびきの園の開所では、母の日が近いということから画用紙と色紙を使って花束のメッセージカードを作りました。母の日企画ということではありましたが仲間が感謝を伝えたい人はそれぞれ。「普段言えないような感謝の気持ちを送りたい」とそんな思いを持って気持ちを込めて作っていました。お母さんに伝える仲間、グループホームのキーパーさんに伝える仲間、お父さんに伝える仲間、中には日頃一緒に働く仲間にもメッセージカードを作って感謝を伝える仲間も。色も様々、形も様々、贈る相手も様々、世界に一つしかない素敵な花束が仲間の数だけ完成していました。(田岡)



今年度4月1日より給食調理が、イフスコヘルスケアー(給食サービス会社)に代わりました。はびきの園の厨房で調理提供されています。以前より行われていた班毎のリクエストメニューや、セレクトメニューなど、なかまが楽しみにしていた活動も継続して頂いています。時折出てくるデザートも美味しく、楽しみの一つです。イフスコと法人職員間で意見や要望の話し合いが定期的に行われており、食形態についても粥や副食の刻み等の対応もして下さっています。なかまも以前と変わらず食事の時間を安心して楽しく過ごすことが出来ています。(磯野)

### 新給食スタート



コロナ禍の中、今年も国会請願署名・募金運動を行いました。昨年同様コロナウイルス感染症拡大の影響を受け十分な署名・募金運動はできませんでしたが、「大変な状況やけど頑張っただけ」で新たに協力いただいた方々もたくさんおられ勇気づけられました。日本国憲法ではすべての国民に請願する権利が保障されています(第16条)。国会請願は法律を作る国会に私たちの願いに基づいた法律の改正や、新しい法律を作ってほしいと願ひ出ることです。これからは多くの方々に私達の願いを知ってもらうために、「どんなことで困っているのか」「どんな仕組みがあれば障害のない人と同じ暮らしができるのか」など、より具体的に、ひとりひとりの声を大切にし、伝えていきたいと思ひます。最後になりましたが今回ご協力をいただいた多くの皆様、大変ありがとうございました。(大竹)

## 第44次国会請願署名